

平成21年度 協働パイロット事業 応募団体一覧表

	団体名	金額
提 案 の 概 要		
1	(特)開発教育FUNCLUB	178,500
<p>住民の活気あふれる中山間地の創造 現在、中山間地では少子高齢化が進み、限界集落と呼ばれる集落も少なくありません。中山間地振興は住民のつながりを回復し、住民が自ら地域の良さに気づき、自分の地域を住民自身の手で活性化していく以外に方法はありません。 私たちはP L A (Participatory Learning and Action) という発展途上国の村落開発に使われてきた手法を用いワークショップを開催します。そこから、住民が地域の良さに気づき、自ら団結して地域の活性化を進めていく力を支援し、住民の意志による地域活性化を目指します。 これには町内会をはじめとする地域組織と行政と市民団体との三者の協働が欠かせません。行政はコーディネートという役割を担い、私たちは気づきの場を提供し住民の活動を支援します。そして、主役は地域住民です。住民の燃えるような地域おこしの火をつけることこそ、地域振興の中核を担うものだと考えます。</p>		
2	課題部門：アースデイ子育てフェスタ	249,520
<p>生れる前からの子育て 核家族・少子化が深刻となり、年々子育て世代の環境は悪化するばかりである。青少年の凶悪な犯罪や不登校、引きこもりの原因には乳幼児期子どもがどのように育ったのかという背景が大きく影響しており、単に母親の愛情不足だけでは言えない。地域でのネットワーク、人と人との繋がりを作ること、父親の積極的な育児参加、一昔前では当たり前に行ってきたことが実行するのに難しい状況にある。各分野のスペシャリストを招いて少しでも母親の子育ての大変さを軽減し、講座終了後の生活に活かせるネットワーク作り、出会いの場を提供できるように努める。 我々アースデイの取り組みは2年前よりスタートし、イベントの中で人と人との出会い「パパにやさしい・ママにやさしい・子どもにやさしい」をコンセプトに毎回大変好評の声を頂いている。行政との協働で我々が取り組んできた草の根的運動が市内子育て世代の家庭に届き、多方面からの子育てが実現できる。</p>		
3	自由部門：(特)生きる生きる	248,850
<p>ふるさとコンサートとナラオ交流キャンプ 静岡市葵区大川地区の檜尾、崩野、大間などの集落に住む高齢者を対象に生のコンサートを出前し、併せて、市街地在住の子ども、親子との交流を図るキャンプを実施する。 その1泊2日の間に、山間地高齢者と市街地参加者はサービスの「供給者と受益者」の役割を何度か交代し、お互いの理解を深める。 この体験は子どもにとっては知恵や経験を子どもたちに伝承する喜び、日頃静かな里山が賑わう喜び、生のコンサートを鑑賞し、プロ歌手と合唱する喜びとなる。 活動の広報、実施、継続により、藁科川流域の景観の美しさ、茶・シイタケの質の高さなどを広く知っていただく。 また、夏と冬の2回実施することは以上の効果を何倍にも高めることになる。</p>		
4	自由部門：(特)しずおか創造ネット	249,375
<p>ふるさと しずおか 再発見16景 私たちのふるさと「しずおか」は美しい自然と優れた景観に恵まれ、その中に生まれた人々の歩み、歴史の口マンを持つ地域です。そこで市内から16景の景観を選定し、この文化遺産を市民に再発見してもらう企画です。 16景は「東と西の境界薩埵峠」、「丸子路と柴屋寺」、「旧マッケンジー邸と静岡茶輸出」、「梅が島の黄金の里」、「七間町シネマストリート」などでここを取材構成し、その映像を生涯学習センター等の会場での拡大上映で紹介していきます。 また、作品はホームページ化し、インターネットで世界に向け発信していきます。 16景には観光案内図を挿入し、市民ウォーキングの一環としても活用できるものとしていきます。</p>		

平成21年度 協働パイロット事業 応募団体一覧表

	団体名	金額
提 案 の 概 要		
5	自由部門：教育活動支援の会	246,750
<p>新しい未来社会を築く子どもたちのために～学校・地域教育のサポート 学校支援の活動は2年前より、地域支援は昨年10月より行っている。学校支援は順調な活動の中で、学校・子どもたちからも大変喜ばれ大きな成果を挙げてきた。 しかし、地域支援（江尻生涯学習交流館における教育相談）は、毎週、火曜日の1回の実施で来訪者も少なく、また、試行的に行っている段階といえる。 この地域支援（教育相談）は、本会発足の当初からの目標にしている事業のため、市当局の援助をいただき成果をあげていくよう努めていきたい。 地域支援の教育相談事業は、江尻生涯学習交流館との共催の事業であるが、江尻生涯学習交流館は、場所の提供のみでその他財政的援助は一切ない。</p>		
6	自由部門：静岡市地球温暖化対策地域協議会	249,375
<p>台所から始まるストップ温暖化 ～静岡市における廃食用油回収・BDF化仕組みのモデル作り事業 本会は、平成20年度に地球温暖化対策を目的とした廃食用油回収事業を実施し、市内4地区（北安東、八坂北、高松、有度（スーパー型））で560Lの廃食用油を回収した。 また、昨年の経験では、住民の廃食用油回収へのニーズが高いこと。回収を実施した地区やスーパーマーケットは実施に好意的であること。広範囲に顧客を持つスーパーマーケットと連合自治会等の広汎な情報ネットワークの結合により回収効率の飛躍的な向上が期待されること。廃油買取価格は低廉で、古紙回収等とは異なる回収モデルが必要であること等を知った。 本年は、これらのノウハウを生かし、さらに回収拠点を増やして継続するとともに、市、BDF製造企業との協働による全市的な廃食用油回収を目指して、3者の連携を深めることを試みる。</p>		
7	自由部門：(特)大日倶楽部	249,900
<p>井川古道「大日街道」の復元 つい半世紀まで井川は陸の孤島として外界から隔絶、封印されてきました。それが電源開発によって水没し、得たものも大きかったが多くの財産も失ってしまった。わずかに残っていた貴重な資料も学術的に統一保管されることもなく、分散し流失しています。 「大日街道」も現在では廃道になってしまい、忘れ去られようとしています。ところがこの峠の道を実際に使われ歩かれた多くの人々がまだまだご健在でナマの情報が収集できる最後のチャンスで、これを復元させることにより井川の歴史・文化に再度光りが当たるきっかけになればと思います。 何世紀にも渡って重要な役割を果たして来た「大日街道」、我々は歴史と文化のこの峠の道を、単に井川地区の住民のためだけでなく、静岡市民全体の重要な遺産と位置づけ、何とか復元しなければと企画いたしました。</p>		
8	自由部門：日本平動物園ガイドボランティア	249,900
<p>日本平動物園 新・猛獣館オープン告知事業 平成22年春に予定されている日本平動物園の新猛獣館供用開始に合わせて、青葉緑地で告知を行い、動物園事業の周知と来園者数の増加を目指す。 1. 場所 青葉緑地 B 1 2. 日程 平成22年3月6日（土）、7日（日） 3. 出展 ・動物園告知ブース ・小動物とのふれあいブース ・工作コーナー ・日本平動物園ガイドボランティア紹介ブース ・動物園公益活動紹介ブース（静岡市動物園協会） 4. その他 当日配布用パンフレット印刷、展示用パネル作成等</p>		

平成21年度 協働パイロット事業 応募団体一覧表

	団体名	金額
提 案 の 概 要		
9	自由部門：ネクステージ企画室	241,080
<p>アラサーティのワケドキイベント塾 この世代はバブル崩壊後の「就職氷河期」「ロストジェネレーション」世代と呼ばれている。近年では、その世代の自殺者の増加など、この年代の抱える問題点は社会的にもますます顕著の傾向にあります。 30代に生きる力、自らの能力を講座などで、再確認し、経済的な不安などを解消する。 また、社会にとっても活力ある若者の潜在能力を引き出し、多角的な面での支援をパイロット的に試みる。最終的には、それぞれの価値観、能力に自信を持つことにより、仲間とのコミュニケーションを図りながら、一つの目標に添って、イベントなどを開催する。</p>		
10	自由部門：富厚里 F C	249,470
<p>市民農園の共同利用による利用促進事業 静岡市では、高齢化や後継者不足により耕作放棄地となった農地を市民農園として活用することを推進していますが、農業に興味を持つ人が増えているにもかかわらず、利用率が伸び悩んでいる状況があります。その理由としては、個人で借りるには継続的な維持管理が容易でなく、農業の知識・情報が十分でないことの不安があることがあげられます。 私たちは、市民農園を共同で借りて作業分担し、地域の方々のアドバイスや協力を得て、農作業を通じた交流活動を行い、楽しく、気軽に農業体験をすることを実践しています。市民農園は、育てる楽しみ、収穫する喜びだけでなく、出会いと発見と学びの場としての可能性を持っています。 今回提案する企画は、HPやチラシ等を活用し、市民農園での農業体験やイベントの告知、活動記録、四季折々の農園の様子、そして農園を核とした地域との交流による楽しさを伝え、その利用促進をめざす協働事業です。</p>		